

「ジオパーク清掃2019 in 尻労」ご協力に感謝！

下北ジオパークの猿ヶ森砂丘ジオサイトに含まれる尻労地区南側の海岸で、5月18日、毎年恒例の「ジオパーク清掃in尻労」が行われました。

平成27年に東通村観光協会の呼びかけで始まったジオパーク清掃ですが、今年は過去最多となる約240人が参加。ジオパーク活動の根幹である貴重な資源の保護・保全のため、南北約600m、東西約100mの海岸から漂着物などを回収しました。

回収した漂着物は、可燃・不燃・漁具等合わせて約0.9トンで、中には外国語で書かれた漂着物もあり、世界的な海洋ゴミ問題を実感する清掃活動でした。

今年は、八戸工業大学の学生が清掃活動に合わせて海洋ゴミの調査も行うなど、ジオパーク活動が様々な広がりを見せています。今後も住民参加や貴重な資源の保護・保全活動が期待されます。



今年も多数のご参加ありがとうございました！

ひとみの里田名部川沿いの桜植樹について

5月22日（水）、ひとみの里の良好な景観を保持し、中心地エリアの魅力を高めることを目的とし、ひとみの里住民、東通村職員互助会、関係団体等有志が、ひとみの里田名部川沿いに桜の植樹を行いました。

当日は約90名の参加者が集まり、約150本のオオヤマザクラの苗木を植樹しました。

今後の桜の成長を楽しみに見守っていただければと思います。



令和元年度東通村植樹祭

6月8日（土）、蒲野沢共有林において令和元年度東通村植樹祭が行われました。

この植樹祭は東通村緑化推進委員会（越善靖夫会長）が「森林保護と森林がつくり出す水の循環による豊かな漁場づくり」を目的として、平成13年度から毎年実施しているもので、今年で19回目を迎えます。

当日は、小雨が降る中、村内各漁業協同組合長、関係機関、東北電力、東京電力ホールディングスのほか関係者やボランティアなど約160名が参加しました。

来賓の方々によるオオヤマザクラ12本の記念植樹と参加者全員によるコナラ、ヤマモミジ、ブナ、トチ、ミズナラの5種類の苗木4



小雨が降る中、約160名の方々が参加



植樹の様子



植樹の様子

50本の植樹が行われました。森が作る栄養素は、雨水に溶け、川を通して海に流れ、海藻や魚の餌になるプランクトンを育てます。私たちの暮らしを支える豊かな森を守り、実り豊かな漁場を維持するため、今後も「育てる活動」に積極的に取り組んでいきます。